

iv) 現在の死にたい気持ち（自殺念慮・希死念慮）の確認

自殺念慮を確認することは、自殺未遂患者のケアでもっとも重要なことのひとつである。強い
か弱い、いつからあるのか、どのような状況で自殺念慮が出現するのか、実際に自殺の再企図
の計画を立てているのか、ということ把握する必要がある。明らかに身体的に重症度が高い場
合には、入院を前提に話が進むが、身体的に重症でない場合には、帰宅させた上で精神科の外来
治療につなげるべきか、それとも精神科病棟での入院治療が必要か、ということ判断する。

死にたい気持ち（自殺念慮・希死念慮）

「死にたい」という直接的言動だけでなく、「いなくなりたい」「ずっと眠っていたい」という
間接的言動も自殺を願望する、あるいは示唆することがあるので注意を払わなければならない。
これらがあれば、以下を確認する。直接的に「死にたくなることはありますか」と聞くことがた
められる場合は、「死んでしまいたいくらい辛いことは…」「もういなくなってしまうと思
うことは…」などと尋ねる方法もある。

- ①希死念慮：死を願う気持ちのことだが、自殺までは考えていない場合
- ②自殺念慮：自殺という能動的な行為で人生を終わらせようという考え方
- ③計 画 性：自殺の手段や場所、決行時間まで具体的に考えている場合には、自殺の危険が高い

